

広 報

み な み
ふ ら の

4

2015. APRIL No.709

特集：平成27年度執行方針

東日本大震災から4年 火文字で追悼 (3月14日)
(南ふらのスキー場)

平成27年度のまちづくり

3月11日から開かれた、平成27年第1回町議会定例会において、池部町長は「平成27年度町政執行方針」を説明し、五つの柱を基本とする第5次総合計画の実現に向けて、町政推進の決意を述べ、町民皆様のご理解とご協力をお願いしました。

また、上林教育長は「平成27年度教育行政執行方針」を説明し、地域に根ざした教育行政推進の決意を述べました。

以下、町政執行方針と教育行政執行方針の内容をお知らせします。



南富良野町第5次総合計画

共に創る 笑顔で生き活き みなみふらの

- ◆次代へつなぐ活力ある産業のまちづくり
- ◆幸せに暮らせる健康と福祉のまちづくり
- ◆安全・安心・快適なまちづくり
- ◆学ぶ力・健やかな体・豊かな心を育むまちづくり
- ◆共に創造するまちづくり

はじめに

平成27年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、町政執行への私の所信を申し上げます。

国は昨年、急速な少子高齢化の進展に対応し、地方の人口減少に歯止めをかけることにも、東京一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持するための「まち・ひと・しごと創生法」を制定いたしました。

人口減少は、本町においても、まちの活力を失う大きな課題であります。

まち・ひと・しごと創生法では、平成27年度から5年間の市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略、いわゆる地方版総合戦略の策定を求めています。

本町は、平成25年度にスタートした第5次総合計画に基づき、まちの将来像である「共に創る 笑顔で 生き活き みなみふらの」く太陽と森と湖のまち」実現に向けて、取り組んでいるところであります。

国が求める地方版総合戦略の策定にあたりまして、この理念のもと、町民の皆さまが「この町に住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と思っていただけの施策を追求し、多くの方に定住、移住をしていただけるよう取り組みを進めてまいります。

本町歳入の7割を占める地方交付税交付金は、再び削減される見込みとなっており、平成27年度予算では基金の大幅な取り崩しを余儀なくされ、財政状況も厳しくなっております。

地方創生は大きな流れです。この流れにうまく乗り、国の財源や施策などを、町の発展に向けられるよう、最大限の努力をしてまいります。

それでは、平成27年度に取り組む主な施策について、まちづくりの基本目標に沿って申し上げます。

次代へつなぐ活力ある産業のまちづくり

まず、産業分野で「次代へつなぐ活力ある産業のまちづくり」

「農業の振興」
はじめに農業の振興であります。

農業振興施策については、持続可能な力強い農業を実現するため、農業基盤の整備強化など、様々な措置を講じ、経営規模の拡大や地域振興作物の生産性向上のため、農業協同組合や農業団体、関係機関と、より一層の連携を強めてまいります。

また、護岸ブロックの老朽化により、農地の保全に支障を来しております下金山地区黄金沢川排水路の改修を行ってまいります。

多面的機能支払交付金事業及び中山間地域等直接支払交付金事業については、水路・農道等、地域資源の保全管理、遊休農地発生防止や農業生産活動の維持向上を図るべく、引き続き取り組んでまいります。

農業元気づくり事業については、新規作物導入事業を中心に、災害に備えた畑作物共済へ加入を促進するための助成制度も、引き続き実施してまいります。

農地の流動化対策については、農業委員会を中心に、農用地利用集積計画の策定や農地保有合理化事業を活用し、農地の保全に努めてまいります。

農業の担い手対策については、農業後継者などに対する奨学金制度や新規就農者育成制度により引き続き取り組んでまいります。

また、遊休農地の受け皿や農業担い手対策として期待される

れる農業生産法人設立について、生産者や農業協同組合、関係機関と意見交換を図り取り組んでまいります。

ジャガイモシストセンチュウ対策については、平成26年度も新規の発生は見られませんでした。対策協議会により引き続き蔓延防止活動に努めてまいります。

「熊・鹿」捕獲奨励金事業については、引き続き実施するとともに、国の鳥獣被害防止緊急捕獲対策についても併せて取り組み、個体数の削減に努めてまいります。

畜産振興については、畜産農家の経営環境が飼料の高騰や、乳価の低迷などにより、依然として厳しい状況にあることから、串内牧場に乳肉用牛を預託する費用の一部助成を継続してまいります。

また、停電時の搾乳対策として、発電機購入費用の一部助成に引き続き取り組んでまいります。

林業の振興

次に林業の振興であります。森林・林業を取り巻く状況は、木材価格の低迷などによ



林業担い手による下刈り作業

り、森林所有者の経営意欲の減退を招き、森林整備放棄地の増加が懸念され、造林事業の減少や林業労働者の担い手不足など、あらゆる面で課題を抱えています。

これらの課題解決に向けては「南富良野町森林・林業マスタープラン」に基づき、各種施策に取り組んでまいります。

林業は、農業とともに本町の重要な基幹産業であります。森林を整備する中で、地域

林業生産活動の活性化を推進するためには、林業労働者の減少や高齢化などにより、担い手対策が急務となっておりますので、森林整備担い手対

策推進事業及び林業担い手新規定着通年雇用支援事業を引き続き取り組んでまいります。

町有林事業については、高齢級人工林の計画的な主伐と育成のための間伐事業及び下刈り事業等を実施し、年齢の平準化や林業労働者の雇用対策に努めるほか、森林総合研究所分収造林事業に引き続き取り組んでまいります。

また、一昨年に発生しました雪害による倒木等の処理については、国・道の助成制度を活用し、引き続き実施してまいります。

木質バイオマスエネルギーの利用については、町内公共施設に導入した木質ボイラーの燃料となる、木質チップの安定生産と安定供給を図るとともに、木質チップを拠点とした林産業活性化への道を切り開くため、木質チップ製造拠点施設の整備について、早急に検討し取り組んでまいります。

遺条例等関係法令に基づき、森林組合へ町職員を派遣してまいります。

民有林の振興については、森林所有者の負担軽減を図るため、各種補助制度を活用した除間伐事業や造林、保育事業の推進について、森林組合と連携を図り、引き続き取り組んでまいります。

また、林業専用道久住川向線開設工事に引き続き取り組むとともに、雪害による民有林の倒木等の処理を行ってまいります。



移動式木材破砕機

民有林地流動促進事業については、経営意欲を有する方への林地流動促進と森林購入者の負担軽減を図るための支援制度として、利用の拡大に向けて引き続き取り組んでまいります。

商工鉱業の振興

次に、商工鉱業の振興であります。

町内商工業を取り巻く環境は、産業全般の低迷や過疎化などが大きな要因となり、個人消費の伸びが期待できず、国の景気対策についても中小企業・小規模事業者や地方経済までなかなか行き届かず、商工業全体として依然厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、商工会の育成強化については、商工会の財政効率をより一層求める中で、商工振興事業補助金による支援を継続し、町内消費向上対策についても商工会と連携を図り進めてまいります。

町内の消費向上対策については、加盟店で展開している「ポイントカード事業」に対し、引き続き財政支援をしてまいります。

また、平成26年度国の補正予算による「消費喚起・生活支援型交付金」を活用し、地元消費の拡大を図るため、プレミアム付商品券事業に取り組み、特産品の振興に努めてまいります。

町内特産品の販売促進等への支援については、引き続き特産品開発支援事業に取り組み、特産品づくりや販路拡大などを支援し、特産品の振興に努めてまいります。

鉱業振興については、引き続き鉱業振興会から、ご意見やご要望をいただく中で、諸情勢の認識を共有しつつ、鉱業振興に努めてまいります。

振興公社

振興公社の経営は、まちの活性化や雇用の場の創出、産業の振興など、役割は極めて重要であります。

その設立目的達成のため、議会特別委員会のご意見を踏まえ、経営改善策について検討し、順次実行してまいります。

観光の振興

観光振興については、富良野美瑛広域観光推進協議会に参加する自治体と共同し、国内外に対して本町の観光資源のPRに取り組み、富良野美瑛圏域に観光客を誘致するため、関係する機関と連携を図ってまいります。

また、観光関連施設については、南ふらのスキー場第2リフトの支えい索交換、ログホテルラーチの客室内装などの改修を行ってまいります。

本年新たに「エキステラジャパン・チャンピオンシップ大会」が、運営する競技団体からの要請により、8月下旬、かなやま湖周辺を会場とし開催されることになりました。



道の駅

この競技は、オフロード版トライアスロンと言われ、かなやま湖でのスイミング、林道などでのマウンテンバイク、未舗装道路でのトレイルランニングの3種目を1人の競技者が連続して行う競技で、本大会は、毎年10月にハワイ州マウイ島で開催される世界チャンピオンシップの日本代表を選考する大会として、全国から多数の一流選手及び関係者が、本町を訪れることとなりますので、この大会を後援し本町観光のPRに努めてまいります。

道の駅「南ふらの」の再開発構想については、国土交通省の道の駅による地方創生拠

点形成事業の重点候補として、北海道開発局長の選定を受けたところであり、この制度による国の総合的な支援を受け、地方創生の拠点となる「道の駅」再開発の実現に向けた検討を行ってまいります。

NPO法人南富良野まちづくり観光協会は、本町の観光PRや観光資源の活用、かなやま湖湖水まつりの開催における中心的な活動団体であります。

本町の観光は、自然体験観光が中心であり、町内のアウトドア事業者は、ラフティングを基軸に事業展開しておりますが、修学旅行などの利用が落ち込みを見せており、ラ



道の駅での観光客

フティングに次ぐ新たな体験メニューの開発が急務となっております。このような状況を受けて、まちづくり観光協会では、町内アウトドア事業者と連携して、近年ブームとなっておりサイクリングによる自然体験観光メニューの開発が検討されており、これらの取り組みに対し財政支援を行い、本町における新たな体験観光メニューとしての定着に努めてまいります。

雇用対策

季節労働者対策については、富良野広域圏通年雇用促進協議会が実施する求人開拓、相談、情報提供などの各種事業に引き続き支援を行ってまいります。

また、国の地方創生対策を活用して、正職員として新規に雇用増を図る事業者に対し支援する制度を創設し、町内の労働力確保と定住の促進を図ってまいります。

幸せに暮らせる
健康と福祉の
まちづくり

次に、保健・医療・福祉分野で「幸せに暮らせる健康と福祉のまちづくり」であります。

「金山地区福祉交流センター」については、高齢者の方々の介護支援機能や居住機能を提供する「高齢者生活福祉センター」として、また、金山保育所の移転改築により、乳幼児が安全で安心に過ごせる保育環境の充実と、老人クラブの方々の活動拠点など、複合的な機能を備えた施設として、本年4月に開設してまいります。

福祉施設等の充実

「金山地区福祉交流センター」については、高齢者の方々の介護支援機能や居住機能を提供する「高齢者生活福祉センター」として、また、金山保育所の移転改築により、乳幼児が安全で安心に過ごせる保育環境の充実と、老人クラブの方々の活動拠点など、複合的な機能を備えた施設として、本年4月に開設してまいります。

子育て支援

少子化や核家族化がさらに進み、子どもや子育てをめぐめる環境が大きく変化する中で、安心して子育てのできる環境を整えるため、医療・保健・福祉など様々な角度から、引き続き地域の子育て支援を図ってまいります。

本年度から始まる子ども・子育て支援制度の着実な進展と併せ、総合的な子ども政策の充実を図るため、保健福祉課

に「すこやかこども室」を新設し、保育所や子育て支援センターを所管させ、子ども政策に関わる事務事業を集約し、効率的かつ効果的に推進していくための機構再編に取り組んでまいります。

妊婦健診については、費用の全額助成を実施し、交通費などを助成する「すこやか出産支援金」制度、特定不妊治療費の一部助成を継続してまいります。

予防医療については、妊婦、高校生以下の乳幼児・児童生徒及び65歳以上の高齢者に対するインフルエンザワクチン、中学1年生から19歳までを対象とする子宮頸がんワクチン、乳幼児を対象とするヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・おたふくかぜワクチン・水痘ワクチン・ロタウイルスワクチンの全額助成に加え、一部定期接種化となった高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用につきましても、対象年齢を拡大し全額助成を行ってまいります。

疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子育てができるよう、経済的に負担の大きい子育て世代の暮らしを

児童福祉の充実

児童福祉については、幾寅・金山保育所の運営をはじめ、地域子育て支援センター事業では、子育て親子が交流する場の提供や育児相談などの各種事業を推進し、地域に出向いた支援活動の充実を図ってまいります。

高齢者福祉等の充実

高齢者福祉対策については、安心して住み続けていただくよう、生きがいデイサービス、配食サービス、除雪サービス、福祉移送サービスなどの介護予防事業、生活支援事業を引き続き実施してまいります。

また、落合地区の一人暮らし高齢者が、引き続き住み慣

れた地域で生活を送るために必要な住まいの対策については、食事の提供も行う共同生活の施設を念頭に、施設の規模や管理運営等について落合地域の皆さまと協議を行い、施設整備を行うよう取り進めてまいります。

社会福祉協議会への支援

社会福祉協議会については、地域住民の生活課題に配慮するべく、公平公正の立場で地域福祉事業を担っており、在宅高齢者などに対する支援体制の充実と、迅速で効果的な地域福祉事業を推進していくため、引き続き財政支援並びに人的支援を行ってまいります。

また、社会福祉協議会がこれまで培ってきたノウハウを生かし、介護に携わる事業者などの担い手育成を引き続き進めてまいります。

単身高齢者や高齢者のみの世帯の増加がさらに進んでいる中、支援が必要な方々に対し、引き続き、高齢化率が最も高い金山地区の買物サービス及び、高齢者の見守り支援充実のため、集落支援員の配置を継続し、特に一人暮らし

の高齢者に心配される突然の異変に対し、いち早く発見できるよう、関係機関と情報連携の充実を図り、安心して暮らしていただける環境を確保してまいります。

また、マンパワーだけでは補えない高齢者の見守り対策として、人感センサーによる見守りと、24時間コールセンターを通じた緊急対応など、現在実証試験を行っている生活支援システムの効果や課題を検証し、計画的な導入の検討を行ってまいります。

高齢者事業団への支援

高齢者事業団については、高齢者の能力や経験を生かし、仕事を通じて生きがいの充実や社会参加、健康づくりを図るといふ事業目的を継続するため、引き続き必要な経費の助成を行い、安定した運営の確保について配慮してまいります。

障がい者福祉の充実

障害者福祉については「第4期障がい福祉計画」に基づき、新たな相談支援事業制度への移行に伴う、障害者に対

安全・安心・快適なまちづくり

次に、生活基盤・生活環境分野で「安全・安心・快適なまちづくり」であります。

地域基盤の整備

道路については、住民の日常生活、地域経済や社会活動を支える重要な社会基盤であり、計画的な整備と適切な維持管理が必要であります。

近年の農産物搬出車両や農業用機械の大型化に対応した、東幾寅線の道路拡幅改良工事を引き続き行っております。



国道38号歩道改良工事

保健事業の充実

するサービス計画の作成など、関係機関と連携を図り一層の障害者福祉サービスの充実に努めてまいります。

保健事業については、生活習慣病の予防として南プミニドックを引き続き実施してまいります。年2回の集団健診を受診できない方に対しては、町内診療所の協力を得て個別健診を奨励し、住民の利便性と受診率の向上を図り、受診後は個別保健指導により、町民の健康づくりに取り組んでまいります。



南プミニドック

医療体制の充実

医療については、町民が住

いホームページとするため、公共施設の予約システムを追加するなど、改修が完了しましたので、4月から運用を行ってまいります。

インターネットの活用は、町民の皆さまが、行政情報を始めとする様々な情報の取得・共有を図るため、光回線の普及に努めてまいります。

国が進めています、社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度については、本年度より一部利用が始まることから、この制度に対応した行政システムの改修を行ってまいります。



町の新しいホームページ

住宅環境の整備

地域の情報化推進については、より、見やすく使いやすい

み慣れた場所で安心して暮らし続けるために不可欠な社会基盤であります。安定した地域医療提供体制の実現にあたっては、引き続き医師2名体制を維持し、歯科診療所を含めた医療体制の提供と地域事情にあった診療体制を構築してまいります。

また、休日、夜間の一次救急及び専門的な高度医療については、富良野協会病院との病診連携を進めてまいります。地域センター病院として富良野第二次医療圏を担っております富良野協会病院については、地域周産期母子医療センターとしての機能充実を図るため、平成27年度に整備を行う産婦人科及び小児科の医療機器整備について、富良野沿線市町村の協定に基づき支援を行ってまいります。

保険・医療の充実

介護保険事業については、高齢化等による利用の増加、制度改正に伴う65歳以上の負担割合の増加などの影響から、第6期介護保険事業計画において、介護保険料の改定を行ってまいります。

公営住宅については、長期にわたり使用できるよう適正な維持管理に努めるため、新幾寅団地7棟14戸及び幾寅グリーン団地2棟4戸の屋根外壁塗装等工事、幾寅グリーンハイム1棟12戸の屋根改修工事を行ってまいります。

また、解体した幾寅東団地跡地での建替え事業を行うため、本年度実施設計を行ってまいります。

民間・持家住宅の整備促進と定住・移住対策については、マイホーム建設促進事業の増築に係る補助限度額の見直し、民間共同住宅及び個人住宅の建設促進に向けては、建設に必要とする住宅用地について、一部を無償提供する制度を検討してまいります。

また、現在居住されている住宅を長持ちさせ、永く町内に居住していただくため、持家をリフォームする制度を新たに創設してまいります。廃屋の解体撤去については、安全、安心な居住環境をより推進するため、助成限度額を撤廃するなど、解体撤去を促進する制度に見直しを行ってまいります。

国民健康保険事業については、生活習慣病予防対策として特定健康診査、特定保健指導の実施により、糖尿病や高血圧など生活習慣病の予防と改善に取り組み、事業の安定的な運営を図ってまいります。

介護福祉分野においては、人材確保が非常に困難な状況にあります。今後の安定した事業の継続を図るため、大乗会や社会福祉協議会の役割分担について改めて事業内容を見直し、運営の効率化や人材の有効配置、新たな人材の育成についても、連携した取り組みとなるよう、継続して協議を進めてまいります。

保健福祉センターは、福祉事業の中核施設として、また、各種行事の会場としても日常的に多くの町民の方々に利用されています。本施設は防災計画上「福祉避難所」に指定されており、耐震診断を実施した結果、建物の一部が強度不足であることから、改修に向け実施設計を行ってまいります。



廃屋家屋

また、自治会代表者会議において要望をいただきました、幾寅東町の2階建職員住宅については、交通安全にも配慮し、本年度解体撤去を行ってまいります。

簡易水道事業

簡易水道事業は、日々の生活に欠かすことのできない飲料水を、常に安全で安定的に供給することが必要です。適切な施設の維持管理に当たり、合理的、かつ効率的な運営に配慮するとともに、本年度から計装機器等の更新を進め、生活用水の確保に万全を期してまいります。

公共下水道事業

公共下水道事業については、下水処理場をはじめ、各施設の適正な維持管理により、処理能力を保持してまいります。また、公共下水道区域以外の環境保全と、快適な住生活の向上のため、合併処理浄化槽設置整備に対する助成を継続してまいります。



町浄化センター内部

自然環境の保全

本町は、広大な森林と清らかな水など自然環境に恵まれた地域であり、その象徴として「かなやま湖」にはイトウが生息しています。このイトウを町民共有の財産として、

次世代に継承するため、イトウの保護と適正な管理に努め、町内児童生徒へのイトウを通じた環境教育の充実を図り、加えて、観光資源としての活用を検討してまいります。また、フォレストタウン記念植樹祭、北海道日本ハム球団の現役プロ野球選手を招いて、アオダモ植樹や野球教室、滝川市ボランティアグループとの水源の森創造交流会を開催するとともに「新山川草木を育てる集い」南富良野協会の皆さんにより「エジンバラ公の森公園」の環境整備活動を支援し、自然環境の保全に努めてまいります。

環境衛生

ごみ処理については、より一層の減量化やリサイクルの推進が求められていることから、啓蒙活動を行い町民皆さまの理解と協力を得て、分別の徹底を図り、減量化に努めてまいります。

防災・減災対策

災害時の防災拠点となります役場庁舎については、耐震改修促進法の改正により、耐

震診断とその結果の公表が義務化されたことに伴い、耐震診断を実施してまいります。防災・減災対策については、行政の重要な責務であり、安全・安心なまちづくりは、町民皆さまの願いであります。平成26年度には、災害時の避難場所となる施設への緊急用自家発電設備等の整備を完了いたしました。引き続き平成27年度においても非常食の備蓄、寝具及び資機材等の配備を行ってまいります。

また、災害対策基本法の改正により、災害発生時において支援が必要となる独居の高齢者や身体障害者の方々などを対象とした、要支援者台帳の整備が義務付けられましたので、併せて整備を行ってまいります。

災害発生時の住民への情報提供は、行政の責務であり、職員並びに消防団の協力により行っておりますが、今後、確実に周知できる災害情報通信システムの検討を行ってまいります。また、災害の予防や応急対



交通安全啓発運動

防犯と交通安全については、富良野警察署など関係機関・団体と連携を密にし、悲惨な交通事故や犯罪のない安全で安心な地域社会が確保されるよう、より一層の推進に努めてまいります。

防犯と交通安全

学ぶ力・健やかな体 ・豊かな心を育む まちづくり

次に、教育・文化分野で「学ぶ力・健やかな体・豊かな心を育むまちづくり」であります。

教育施策については、本年

4月より「地方教育行政制度」が大きく変わり、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長と教育委員会の連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しなど、制度の抜本的な改革であります。

このうち、教育長から「教育行政執行方針」が示されますので、私は、財政措置を通じて教育行政を支援する立場として、主要な事項について申し上げます。

小学校のあり方

小学校のあり方と小学校の耐震化については、各地区のご理解をいただき、町内2校化に取り組んでいるところであります。

昨年4月には、北落合・落合・幾寅小学校を統合した「南富良野小学校」を開校致しました。金山、下金山小学校の統合については、平成28年4月に新たな校舎での開校に向け取り組んでいるところであります。

また、統合に向けては、昨年7月に統合推進協議会を設置し、保護者や地域の方々の意見を十分に反映し、スムーズに移行できるよう協議を進めているところであります。

スクールバスについては、金山、下金山小学校の統合に伴い、統合学校への通学バスを配置し、現有しているスクールバスについては経年劣化も激しいことから、併せて更新してまいります。

学校給食については、議員各位のご理解を賜り、昨年の2学期より所得階層に応じた助成を始めさせていただきます。成長期にある児童生徒の体位向上と健康増進、子育て世代の負担軽減を図るため給食費の助成を引き続き行つてまいります。

南富良野高校

南富良野高等学校については、本年度も積極的に生徒確保の活動を行いました。入学志願者は14人でありました。今後は、中学校を卒業する生徒数が更に減少し、生徒確保がより厳しい状況が予想されます。

私は、町立学校であり小規模校であるという強みを最大限に活かし、他の高校では得ることのない高等教育により、昨今の社会環境で活躍する人材の学び舎として存続させるべく、地域性や時代要請に応え、生徒にとつて、よ

交流事業

魅力的な、入学して良かったと言われる学校づくりを進めてまいります。

沖縄県本部町との子ども達の交流については、平成27年度で25回目となります。両町の絆をさらに深めるため、特産品の交流と合わせ、町内児童の親善訪問交流を継続してまいります。

放課後子ども教室

放課後子ども教室については、南富良野小学校体育館に付属した施設により、北落合及び落合地区からの通学児童も対象とした上で、保護者の負担軽減を図るため、運営経費を全額予算化し、利用料を無償として取り組んでまいります。

高齢者教育

千里大学については、高齢化社会の中で、豊かで充実した生涯生活を過ごしていただくため、学習や交流の場を提供するなど、引き続き取り組んでまいります。



千里大学入学式

アスリート派遣補助金

スポーツ振興については、町民が全道・全国・国際大会等に出場する経費を支援する「アスリート派遣補助金」を引き続き実施してまいります。

共に 創造する まちづくり

次に、住民協働・行財政分野で「共に創造するまちづくり」であります。

住民参画と協働

住民と行政の連携について

地域コミュニティの維持

は、町民皆さまが、まちづくりの主役であることはいつの時代にあつても変わりません。地域の声を広くまちづくりに反映させるため、これからも町民皆さまの積極的な参画をいただき、住民と行政のパートナーシップによる「自助・共助・公助」の補完体制を確立し、協働のまちづくりを推進してまいります。

自治会活動の支援としては、南富良野町自治会活動推進条例に基づき、自治会活動交付金により、引き続き助成を行ってまいります。

少子高齢化の進展、人口減少による過疎化の問題については冒頭でも触れたところでありますが、地域活力の低下を少しでも補うため、国の過疎対策制度であります地域おこし協力隊の増員を図ってまいります。

健全財政の維持

本町の財政運営については、特別な投資的経費を除き、その年の歳入で歳出を賄うことを基本としており、歳入の不

足に対しては、これまで町民皆さまや議会議員をはじめ、町職員各位のご理解を賜る中で、集中改革プランなどにより歳入歳出の不断の見直しを行い、平成20年度以降平成25年度までは、住民サービスの向上に努めつつ、決算剰余金を財政調整基金に積み立てを行うなど、平成16年度以前の資金力まで回復いたしました。

しかしながら、平成26年度歳入の7割を占める地方交付税交付金については、算定方法が改定され、過疎の町村は大きく削減されたことに伴い、本町においても不足分を基金から取り崩しており、平成27年度についても、交付金が更に減額される見通しであることから、行政サービスの低下を防ぐため、やむを得ず基金から不足分を取り崩し、予算を編成いたしました。平成28年度以降の地方財政について、国は、地方財政や社会保障も含めた聖域なき歳出削減の姿勢を示しており、更なる厳しい財政運営を強いられることが予想されますので、持続可能な財政運営の確立を図るため、全ての町政事務事業につ

いて、費用対効果を検証し、本町の歳入歳出について見直しを行い、本町財政の適正な規模への移行を図り、危機感を持って、喫緊の課題に対処すべく財政出動に配慮してまいります。

町組織機構については、本格的な人口減少と少子高齢化を迎え、第5次総合計画の着実な推進による定住人口の増と流出人口の減並びに出生数の減少への対応、国が掲げる地方創生への積極的な取り組み、昨今の異常気象などによる災害発生の高まりへの対応など、その時代背景の中で生じる行政課題に対応するため、行政活動の質的变化、量的増減に応じた組織機構の再編に取り組んでまいります。

また、住民生活の利便性の向上と郵便局の存続、さらには行政の効率化の観点から、下金山、金山、落合郵便局における住民票などの交付と公共料金の収納を含めた連携について、平成27年度中の実施に向け、協議を進めてまいります。

まちづくり応援寄附金

まちづくり応援寄附金の活用については、寄付金の一部を産業の振興として、町特産品開発支援事業並びにサイクルツアーガイド育成事業に充ててまいります。

広域連携の推進

広域連携の推進については、圏域市町村との連携を強め、富良野広域連合による事務事業や医療体制の確保、観光など広域業務を引き続き行い、効率的・効果的な行政の推進に努めてまいります。

広報・公聴活動については、広報紙面の充実や町民目線に立った情報の提供に努め、協働開催しております移動町長室、町長への手紙など、広聴活動を展開し、まちづくりへの提案や地域の課題を語り合う機会を設けてまいります。

また、本年度は町民の皆さまに町政への理解と関心を深めていただくため、4年毎に実施している町民施設見学会を秋に行ってまいります。

以上、平成27年度の町政執行に臨む基本的な考え方や第

教育行政執行方針



教育行政執行方針を述べる
上林教育長

- ◆安全・安心な学校づくり
- ◆確かな学力の向上
- ◆健やかな心身の発達・育成

教育行政の基本姿勢

平成27年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、教育行政の方針を申し上げます。

近年、加速度的に社会情勢が変化する中であって、ますます進展する情報システムなどから国際社会のグローバル化への対応や深刻化する少子高齢化による社会全体の閉塞感が生じており私たちの社会生活に様々な影響を及ぼしています。

とりわけ地方における人口の減少は、地域の活力を奪うばかりでなく、未来を担う子ども達の個性や能力を生み出す教育活動に影響を与えることが懸念されます。

国においては、内外の諸課題を解決すべく本年4月から教育委員会制度の改革で首長との連携強化や、教育委員長の廃止などが盛り込まれた関係

学校卒業式



移動町長室

5次総合計画を推進する主要事業について申し上げます。次に、平成27年度予算編成の考え方並びに概要を申し上げます。

まちづくりの最上位計画である第5次総合計画の実現に向け、町行政として真に対応しなければならぬ「政策・課題等への的確な対応」と、簡素で効率的な行政を目指した「行財政改革への徹底した取り組み」並びに「基金に依存しない財政運営に向けた歳出削減」を掲げ、健全財政の維持を図りつつ、まちづくりの着実な進展を図るための施策の推進と、住民の生活福祉の更なる向上の実現を図るべ

学校教育

はじめに、学校教育については、急激な社会構造の変化の中で、次代を担う子ども達の成長を確かなものとするため、子ども達を地域や学校が必要に応じ援助することが大切です。特に学校にあつては、各学校の教育目標に沿って具体的指針を学校経営の重点として示しながら子ども達を教育していきます。

平成27年度は、南富良野小学校、金山小学校、下金山小学校の3小学校、中学校1校、高等学校1校の5校体制で学校教育を実践し、更に平成28年4月開校を目指す金山、下金山両小学校を統合する新設校の校舎建設工事を着工します。

その他統合に向けた諸準備についても、統合推進協議会で協議を行いながら適宜取り進めてまいります。町内各学校では、平成27年度の教育の重点に地域特色を生かした総合学習を取り入れ、南富良野町ならではのスポーツ、とりわけカヌーやカーリ

く、予算編成に努めたところであります。
その結果、予算規模は、
一般会計
40億5,684万9千円
国民健康保険事業特別会計
4億3,026万1千円
後期高齢者医療特別会計
4,009万6千円
介護保険特別会計
2億6,557万9千円
簡易水道事業特別会計
2億3,826万円
公共下水道事業特別会計
1億1,848万3千円
総額
51億4,952万8千円

となり、前年度当初予算と比較しますと、総額で4・4%の増となった次第であります。議会議員の皆さま、町民皆さまの、より一層のご指導とご支援、そしてご協力を心からお願い申し上げます、町政執行方針といたします。



ングの実践と希少動物のイトウの生態学習を行いながら自然豊かな郷土を実感する学習を進めます。



南富良野高校カーリング部

安全・安心な学校づくり

基本方針の1つ目として「安全・安心な学校づくり」であります。

学校施設の耐震化

国の方策として防災、減災事業の一環として進められておりました義務教育学校の校舎耐震化であります。平成27年度で国の補助事業が終了することもあり、大幅に改修が進み平成26年度調査では全国で92・5%が改修済であり、

北海道においても82・9%が対応済となっている現状です。本町においては、学校の耐震化を考慮した中から、南富良野中学校を平成22年度に建設し、南富良野小学校を平成25年度建設し平成26年4月に新しい学校として開校してきています。

平成27年度には、金山、下金山小学校を統合する新設校を建設することになっており、これをもって町内小中学校の耐震化事業を終え、安全な学校づくりが完了することとなります。

学校給食

食の安全につきまして年間4万4千食以上の学校給食を提供している学校給食センターは、昨今のノロウイルスやO-157等の感染症対策を万全に行うばかりでなく、これまでと同様に食物アレルギー調査を実施して、アレルギーを有する児童生徒を把握し、各学校と情報を共有しながら協議を重ね、事前にアレルギー食品情報を提供し、給食業務の安全な供給体制を推進してまいります。

平成26年度から実施をしております学校給食費の助成に

学力向上の施策

町全体として学力向上を図るために、読解力を高める取り組みを推進いたします。そのための施策として各学校での一斉読書を推進し、読書活動の充実に努め、様々な生き方や考え方にふれる機会を多く設定するなど、深く物事を見つめ、考え、互いに人間として尊重し合える人格の形成に努めてまいります。

また、子ども達が正しい勤労観、職業観を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、社会人、職業人として自立していくためには、「キャリア教育」の必要性を認識し推進を図ってまいります。キャリア教育の推進のためには、全ての教員が児童生徒を取り巻く社会環境の変化や地域特性を理解し、共通認識を深めることが重要です。地域素材を生かした「職場体験学習」など、発達課題に応じた連続性のあるキャリア教育を推進してまいります。

ついて、費用の一部を町費負担により行なってまいりましたが、平成27年度におきましても子育て世代家庭への支援を引き続き図ってまいります。

施設についても、当面施設を活用することとなり衛生面に不安が生じないよう必要な予算を措置するなど充分に配慮してまいります。

「食育」については、栄養教諭の配置がなされたことから各学校に出自、授業として食習慣の改善指導など生活の基盤となる食事の大切さや食材の安全性の観点から北海道産食材の消費についての学習を行います。

いじめ対策

「体罰・いじめ」対策については、大きな社会問題となつてはいる現状を踏まえ、国において「いじめ防止対策推進法」が施行されたことを受け、本町においても条例化を図り地域が一体となつていじめ根絶を目指すため、「南富良野町子どもいじめ防止条例」を制定し、いじめの未然防止を最大目標として根絶を図ります。

学校でも北海道教育委員会の体罰・いじめアンケート調

健やかな心身の発達・育成

基本方針の三つ目は「健やかな心身の発達・育成」であります。

体力の向上

全国体力テスト、運動習慣調査で北海道は小学校・中学校とも全国平均で下位グループにあり、特に中学校の男女の総合体力については全国最下位となっている現状です。

本町の子ども達についても、小学校女子は実施8種目中7種目において全道平均より劣る結果となっています。中学校女子も半分の種目が平均より下回っており日常的に体を動かしていないことが見て取れます。北海道の地域性を加味しても学校などにおける運動の継続性、体力の向上を目指した取り組みを展開することで課題解決を図ります。

地域の環境や特性を活かした「野外体験活動」及び地域学習の中で力ヌー体験・カーリング、スキー学習などで体のバランスを高めるスポーツの実践、わが町の自然を生かした野外学習等において運動の習慣化を行う他、地域のス

査を実施し、実態調査を引き続き行います。

確かな学力の向上

基本方針の2つ目は「確かな学力の向上」です。

昭和52年の学習指導要領改定で導入された「ゆとり教育」が実施されてきましたが、近年危惧されていた学力の低下が顕著になったことや教育のグローバル化などへの対応が遅れるなど見直しが必要なことから、平成23年の学習指導要領改定で確かな学力、豊かな人間性、健康体力を兼ね備えた「生きる力を育む教育」へと大きく国の教育指針が変化してきました。

更には、国際教育の実現を目指し平成32年から「英語教科」の小学校導入や、中学校におけるオールイングリッシュ授業の実施が予定されておりあります。

連携教育

本町の各学校においても、学習指導要領に合わせた教育の推進を図ってきているところですが、確かな学力を身に付けさせるための具体的な取り組みとし、南富良野小学校

ボートクラブなどへの参加に取り組んで子ども達の日常的な運動を推進いたします。



町民力ヌー教室

情操教育

子ども達の情操教育には、本町にも生息している絶滅危惧種のイトウ生態学習ばかりでなく他の小動物などの生態についても枠を広げ「生命」について学習を行い、生きることに大切さや尊敬を学ぶことを推進いたします。

これら情操教育を行うには学校はもちろんです。学校と連携し家庭や地域でも実践できるように学級だより、学校だより等で協力を呼び掛けます。

では「土曜授業」を前年に引き続き北海道のモデル事業として実施してまいります。

また、国語、算数の教科については複数教員による授業の実施、習熟度別による自己申告制の分離授業を取り入れて、個々の理解力を高めるための授業を実践しており本年度も積極的に導入を図ります。金山、下金山小学校の複式校については、文部科学省が推進しているICT教材の活用授業を継続的に取り入れ、目で見て考える授業を引き続き進めることにより授業の空白時間が大幅に解消されることとなり効率化が図られるため、タブレット等教材購入費



下金山小学校児童の授業

を予算に計上いたしておりません。

中学校についても、複数教員によるキメ細やかな授業の実施や個に応じた的確な指導が出来る教科別指導体制の確立を図ります。

特に主要科目においては、南富良野高校教員による複数教員体制やA・L・Tを活用したオールイングリッシュ授業を行い、聞く・話すなどの英語を身近なものとすることを積極的に推進いたします。

平成24年度から推進している小中高の連携教育につきましては、事業取組4年次に入り事業の実践検証を行う年度となつてはいることから、これまでと同様に進めるばかりでなく、英語教育の実践、力ヌーやカーリングの実施による地域学習、イトウの生態を学習する自然環境学習などが学校経営方針に盛り込まれ子ども達の教育を行うよう授業の推進、自ら学ぶ力の育成、学習習慣を定着させる保護者家庭との連携、地域素材を生かした体験型教育を実施いたします。

体験させるなど地域の特色を生かした学校づくりに努めているところであります。

小さな学校だからできる授業をめざし、高校全体で様々な取り組みを展開し地域と共に歩む高校をめざしてまいります。

学習活動につきましては、進路希望に応じた類型選択科目を配置するとともに、習熟度別授業、複数教員による授業、コンピュータを活用した情報教育など生徒個々の実態に応じた多様な指導を引き続き行います。

また、5年目となる学習支援員や特別支援員の配置により、始業時間前の0時間授業・平日の放課後や長期休業中を利用した補習など部活動との両立に配慮した講習等を行い、基礎・基本学力の定着から確かな学力の向上に取り組んでおります。



南富良野小学校児童による野鳥観察

南富良野高等学校

南富良野高等学校についてはありますが、3年生21名が卒業し平成27年度は新たに14名の入学予定者の応募をいただき、全校生徒が52名となる予定であり、この生徒達一人ひとりの能力や適性、更には進路に応じた教育活動を実践するとともに、豊かな心の育成を目指して、様々な活動を

生との交流やホームステイを通して語学力の向上、国際感覚を養いグローバル社会に対応できる人間形成と、事後報告会の実施・報告資料の作成など一連の報告活動を実施することにより在校生にも良い影響を与えていることから、平成27年度も継続して実施いたします。

また、学校行事では地域と共にある学校をめざし学校祭、マラソン大会、体育祭などを一般参加型とし学校を開放します。



南富良野高等学校祭

大学との高大連携については、引き続き北海道教育大学岩見沢校や札幌国際大学との連携による大学生の教育実習や長期休業中のクラブ合宿を

語学教室の開催

町民の国際理解と語学力の向上のために開設しております、英会話教室につきましても引き続き実施し継続的な語学教育を展開してまいります。

芸術文化の振興

次に、芸術文化の振興についてであります。生活水準の向上や余暇時間の増大に伴い、心の豊かさを求め、趣味の学習や文化活動に対する関心が高まってきているところから、文化協会を中心とした団体・サークルへの支援を継続して行い、さらに、鑑賞事業の充実を図ってまいります。

読書活動の推進

読書活動の推進につきましては、平成22年度に策定した読書推進計画に基づき、家庭において幼児期の親子のふれあいと絆を深めていただくための「ブックスタート事業」を本年度も継続するとともに、読書習慣の定着を図ってまいります。なお、読書推進計画が本年度で終了となりますことから検証を行い、その成果

実施し補習授業もあわせて実施するなど相互の交流により、生徒の学力及び学習意欲の向上にも結びつくものと考え推進してまいります。

今後も学校選択の多様化など、本校への入学志願者はますます厳しさを増すことが予想されることから、「高等学校運営協議会」や下部組織である「プロジェクト検討会議」の意見を踏まえ、中学生やその保護者に対する説明会や進路相談会・公開授業を積極的に開催し、南富良野高等学校の特色ある教育活動への理解を深めていただくよう更なる努力をしてまいります。

社会教育

次に、社会教育の推進であります。今日的な過疎地域の課題、急激な少子高齢化や国際化・情報過多の中で、本町の豊かな自然や歴史・文化などを活用して、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、子どもから高齢者まで、時間的、精神的ゆとりの中で、いつでも、ど

や課題をふまえて、新たに第2次読書推進計画を策定いたします。

また、保健福祉センターの図書室については、多くの方々に利用していただくため、ボランティア団体と連携した蔵書整理と環境整備に取り組み、利用者ニーズに合った図書の充実を努め、富良野沿線5市町村で行なっております視聴覚ライブラリーとしてのビデオ・DVDの貸出や広域連携の取組みによる、圏域市町村住民にも蔵書の貸し出しを今後も行なってまいります。

公民館活動の充実

公民館分館事業は、地域の集いの場として地域の相互学習の場としてそれぞれの地域の企画により地域特性を活かした活動ができるよう引き続き事業推進を図るとともに、施設を指定管理として地域に依頼し、より一層の利用促進を図ります。

学習活動の支援

住民自主企画活動支援事業につきましては、住民が必要とする多様な学習形態に対応

こでも、だれもが自由に集い学ぶことができる環境づくりに配慮してまいります。

青少年の健全育成

青少年の健全育成でありませんが、依然として非行や犯罪が低年齢凶悪化し、通信情報網の発達もあり人間関係がより複雑化する状況の中、青少年をめぐる問題がますます深刻しており、このような社会的問題は、親など大人の言動や姿勢、関わりの希薄化など社会のあり方が大きく反映していると言われております。学校、家庭、地域が相互に連携した、自然や人々とのふれあいなどの活動機会提供に親と子の触れ合い事業を実施するよう関係機関と調整致します。

家庭教育の推進

特に「親力、親学」の不足が指摘されており、昨年に引き続き関係所管と連携し「ちよつと一息雑談タイム」や「親子元氣アップスクール」等の父親・母親が子ども達とともに学習や運動のできる環境を実施していきま

した事業であり、これまで様々な「講演会」や「体験ワークショップ」を交えたコンサート」の開催など多様な分野において事業が開催され、日常生活の課題解決や健康増進、コミュニケーション活動の推進などに成果がありますので、生涯学習の一環として引き続き住民の自主的活動を支援してまいります。

郷土学習の推進

町内の歴史の跡である史跡については、平成20年度に作成した史跡マップを活用し町民の史跡めぐりや、開拓史の学習の場として各学校の継続した授業を開催し、郷土学習の推進を図ってまいります。

スポーツの振興

次に、体育・スポーツの振興についてであります。町民、だれもが心身ともに健康で明るく充実した生活を維持していくために、各自の体力や能力にあったスポーツを楽しむ、生活の中に積極的に取り入れて行くことが大切であると考えておりますので、スポーツ推進委員及び町体育協

す。

交流事業の推進

友好の町「沖縄県本部町」との親善交流事業につきましては、25回を重ね、これまで2回に両町あわせて1千人を超え



沖縄県本部町との交流

る子ども達の交流が行われてきております。北と南の子どもの達の友情の輪の拡大と風土歴史、文化の違いを自ら体験し学ぶことは極めて貴重であり、この事業を通じて両町のホームステイによる家族間相互交流も芽生え、また継続されるなど交流の輪が広がっていることから、今後もさらに、両町の絆が深まるものと考え引き続き実施してまいります。また、事前学習の場や事後

成人教育の充実

成人教育についてでありませんが、成人期は、家庭、職場、地域社会において中心的な役割を担っている世代であり、働く女性の増加に伴い、女性の社会参加も拡大されてきておりますので、富良野沿線の広域事業を利用するなど幅広い学習活動の提供に努めるほか、各種団体の育成と自主的な活動に引き続き支援してまいります。

高齢者大学の充実

千里大学につきましては、自己を豊かにし、生きがいや楽しみを求めて意欲的に学習活動を展開しております。本年度は、生涯学習指導員を新たに委嘱し、学生達の要望も取り入れながら引き続き学習内容の充実に配慮してまいりますとともに、高齢者の持つ豊かな生活体験や人生経験を活かす機会の場を提供するよう努めてまいります。

会・総合型地域スポーツクラブ「ゆつくとく」などの他、体育関係団体などの連携と協力をいただきながら、引き続き各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催してまいります。

また、町民が各種スポーツ競技の全道大会、あるいは全国・国際大会等に出場する経費の一部を補助し、競技選手への育成と町民のスポーツ活動への意識高揚を図ることを目的とした「アスリート派遣補助金」制度を、本年度においてもスポーツの技術力向上のため、アスリートの育成に必要な支援として継続してまいります。

各スポーツ少年団の活動は、年々活発化し各種大会で好成



町民マラソン大会

績を収めるなど、成果を上げていただいているところでありますが、活動の活発化に伴い、大会参加のための保護者負担が増加している状況でありますので、スポーツを通して子ども達の心身の健全な育成を図り、育成者に対しても指導方法等の質的向上を目的とする研修会を開催し、支援を行ってまいります。

以上、平成27年度の教育行政の執行に対する方針を申し上げます。教育委員会といたしましては、課せられた使命や責任を深く認識して、町民皆さまの負託にこたえるため、町をはじめ教育関係者と協力し最善の努力をしてまいりますので、議員各位、並びに町民皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。



今年度のまちづくり予算の概要

平成27年度の一般会計予算額は40億5,684万9千円〔前年度より1億4,660万6千円(3.7%)の増加〕、5特別会計の合計は10億9,267万9千円〔前年度より6,951万8千円(6.8%)の増加〕となり、総額では前年度より2億1,612万4千円(4.4%)増加の51億4,952万8千円となりました。

一般会計が増加した理由は、金山、下金山小学校の統合学校改築に伴う地中熱利用設備設置事業や幾寅保育所改築に伴う実施設計及び地質調査事業、公営住宅幾寅東団地建設に伴う設計及び地質調査事業などが増加したことにより、一般会計は前年度を上回る予算規模となっています。

特別会計においては、後期高齢者医療事業特別会計における医療費等に係る北海道後期高齢者医療広域連合納付金の減少や介護保険特別会計の介護サービス等給付費が減少した一方、国民健康保険事業特別会計での医療費の増加や簡易水道事業特別会計では配水管布設替事業や金山・下金山地区簡易水道施設の機械計装設備更新事業の増加、公共下水道事業特別会計では浄化センター管理費等の増加などにより、前年度を上回る予算規模となっています。

一般会計の主な使いみち

農業・林業関連 2億7,814万4千円

- ひ熊及び鹿捕獲奨励金
- 農業元気づくり事業補助金
- 道営中山間地域総合整備事業負担金
- 串内草地牧場運営費負担金
- 町有林整備事業
- 林業専用道開設事業
- 民有林整備事業補助金

商業・観光関連 2億4,084万2千円

- 商工業等起業支援事業補助金
- 消費振興活性化補助金
- 町融資利子補給金・保証料補給金
- かなやま湖「湖水まつり」開催費負担金
- 各観光施設運営費

保健・医療関連 8,136万8千円

- 各種住民健診・予防接種事業
- 町医療対策協議会負担金
- 広域救急医療対策事業分担金
- すこやか子ども医療費助成金

福祉関連 4億9,952万4千円

- 社会福祉協議会補助金
- 集落支援員設置事業
- 在宅福祉事業
- 保育所・子育て支援センター運営費
- 知的障害者更生施設からまつ園改築資金補給金

教育関連 5億5,950万4千円

- 小・中学校スクールバス運行事業
- 高等学校生徒通学費助成金
- 学校給食センター運営費負担金
- 沖縄県本部町親善交流事業
- 各公民館・体育施設管理運営費

生活安全関連 1億7,604万5千円

- 交通安全・防犯・防災関係対策費
- 街路灯維持費
- 消防運営費負担金
- 防災資機材購入事業

生活環境関連 5億9,886万6千円

- 公営住宅維持管理経費
- マイホーム建設促進助成金
- 町道維持補修費
- 町道除排雪経費
- 合併処理浄化槽設置整備事業補助金
- ごみ処理事業
- 富良野衛生センター運営費負担金
- デマンドバス運行事業

地域情報関連 3,802万5千円

- 広報紙制作費
- 情報通信基盤施設維持管理経費

住民参画関連 3,087万5千円

- 自治会活動推進交付金
- まちづくり地域活性化交付金
- まちづくりプロジェクト委員会費
- 地域おこし協力隊導入事業

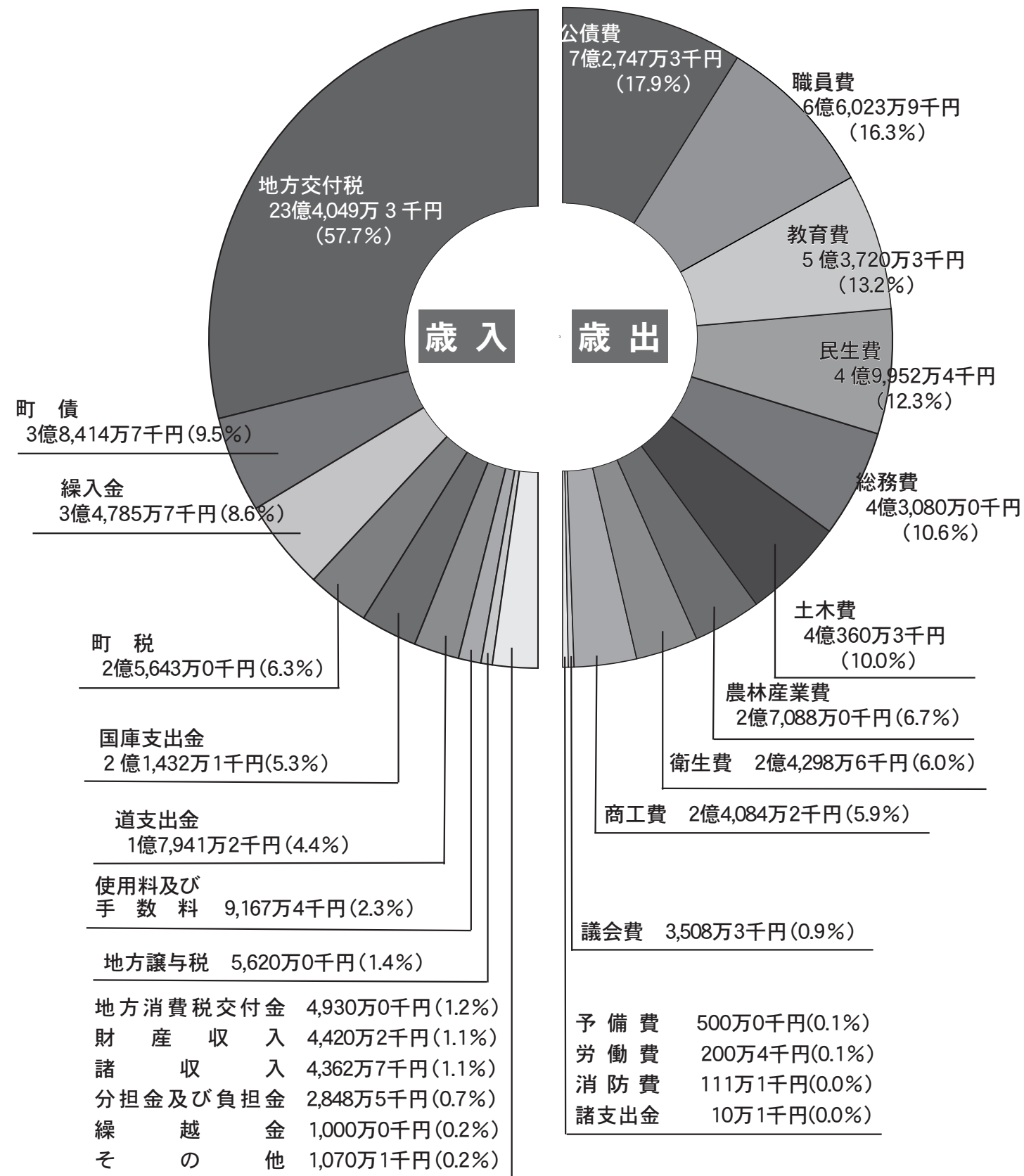
行政運営関連 8億1,970万7千円

- 職員給与費
- 議会運営費
- 行政事務関連経費
- 巡回窓口車「やまびこ号」運行費

その他 7億3,394万9千円

- イトウ保護調査研究事業
- 借入金の返済経費

平成27年度 予算のあらまし 一般会計予算額 40億5,684万9千円

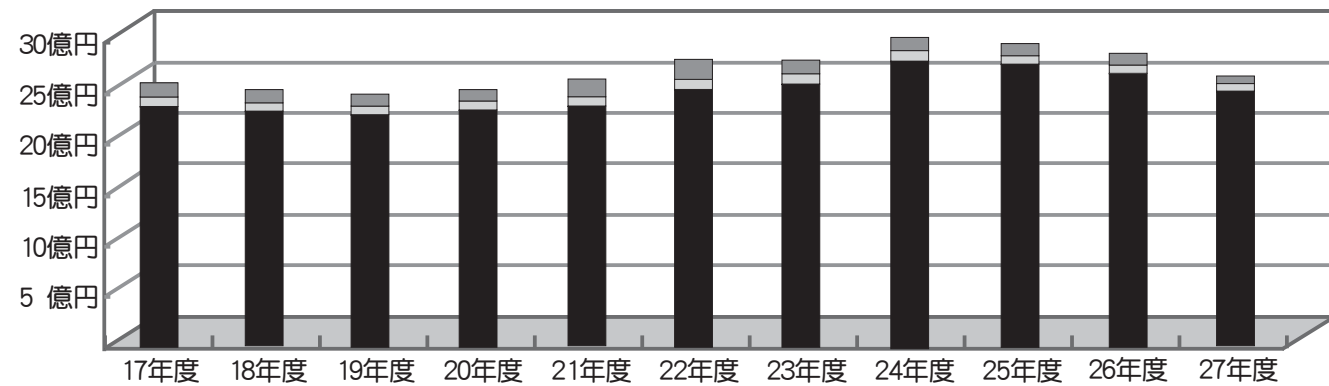


地方交付税の推移

歳入予算の6割を占める地方交付税は、全国画一の算定方法で算出される「普通交付税」と各市町村の特殊事情や災害発生などにより額が算定される「特別交付税」とに区分して交付されています。また、平成13年度からは国の地方交付税財源の見直しにより、普通交付税の一部を都道府県や市町村が「臨時財政対策債」を借入れて財源を確保しています。

これら地方交付税は、平成16年度から18年度までの三位一体改革で大幅に減額されました。景気悪化による地方への配慮から平成21年度以降は増加に転じてきましたが、25年度以降は交付税制度の改正などにより再び減少に転じ、27年度も前年度を下回る見込で、町の厳しい財政運営に変わりはありません。

地方交付税と臨時財政対策債の推移



(単位：千円)

年 度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
普通交付税	2,048,538	2,021,620	2,015,663	2,021,754	2,046,556	2,169,019	2,243,837	2,504,282	2,498,947	2,327,714	2,230,000
特別交付税	120,161	107,804	111,163	114,609	118,195	124,802	127,499	129,506	129,073	103,869	110,493
臨時財政対策債	179,900	171,000	155,145	145,321	225,545	246,972	168,402	160,876	150,931	140,238	107,747
計	2,348,599	2,300,424	2,281,971	2,281,684	2,390,296	2,540,793	2,539,738	2,794,664	2,778,951	2,571,821	2,448,240

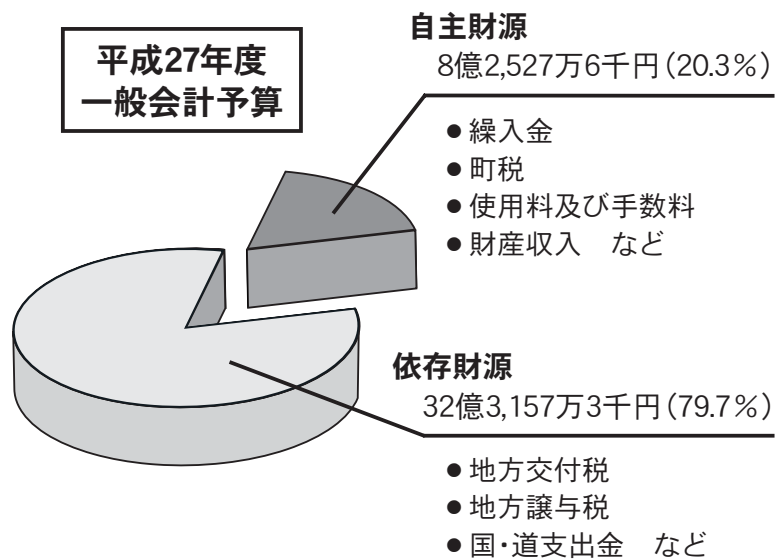
(注) 平成26年度までは実績額、27年度は予算額

依存型の財源構造

歳入のうち、町税や使用料・手数料などの自主財源の割合が低く、地方交付税や補助金など国や道から交付される財源に大きく依存しています。

このため、国や道の財政事情や制度改正などにより、町の財政運営が大きく影響を受けることになります。

27年度は地方交付税の減額が予想されることから、基金を取り崩しての予算編成となります。

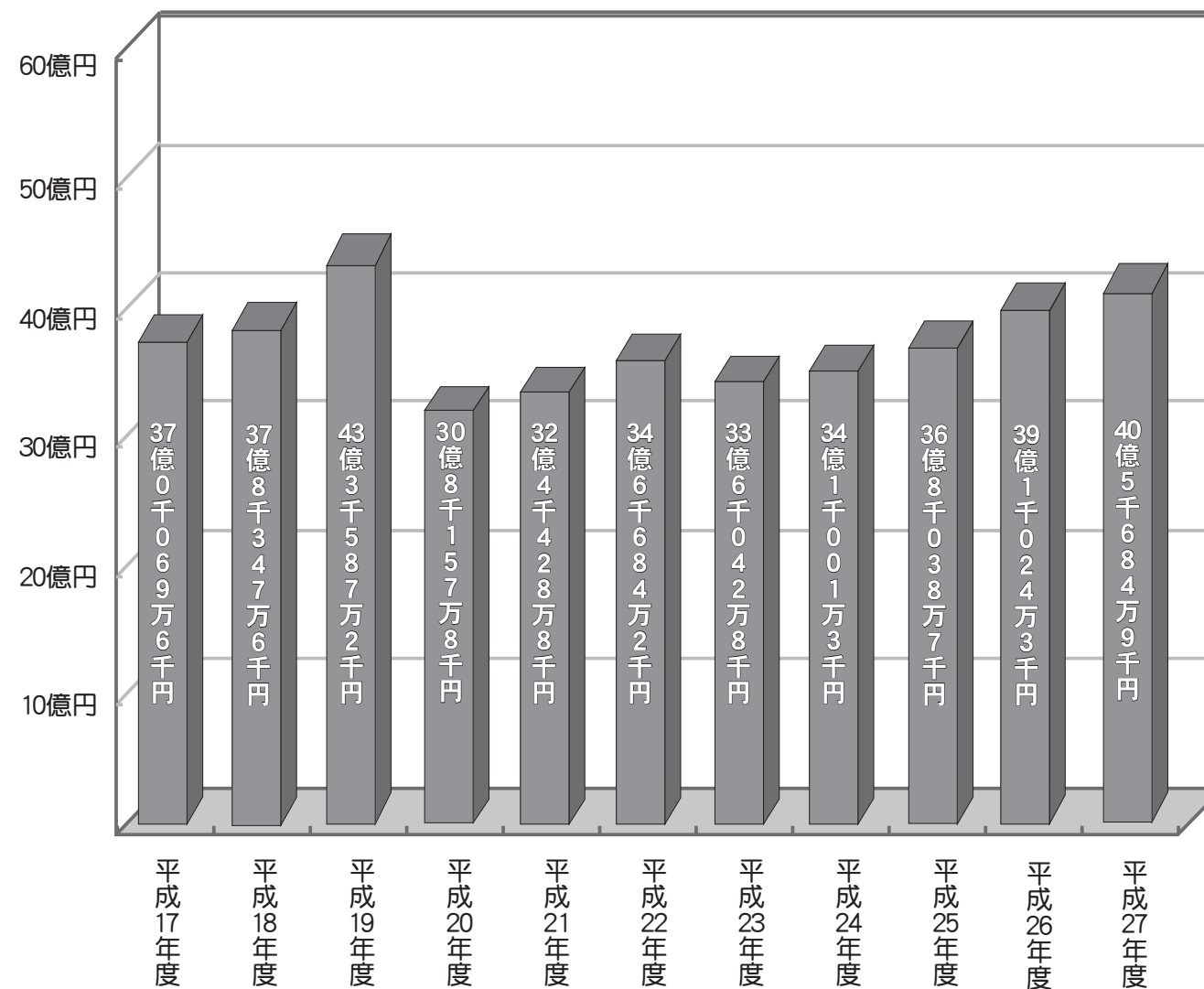


各会計の予算額(前年度対比)

6会計総額 51億4,952万8千円

会 計 名	予 算 額	前年度からの増減額	増 減 率	
一 般 会 計	40億5,684万9千円	1億4,660万6千円	3.7 %	
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	4億3,026万1千円	2,252万7千円	5.5 %
	後期高齢者医療事業特別会計	4,009万6千円	△52万4千円	△1.3 %
	介護保険特別会計	2億6,557万9千円	△1,046万4千円	△3.8 %
	簡易水道事業特別会計	2億3,826万0千円	5,593万7千円	30.7 %
	公共下水道事業特別会計	1億1,848万3千円	204万2千円	1.8 %
全 会 計 の 総 額	51億4,952万8千円	2億1,612万4千円	4.4%	

年度別予算規模の推移(一般会計の当初予算額)



学び舎を巣立つ

各学校で卒業式

南富良野中学校 第10回卒業証書授与式 卒業生19名 (3月15日)



南富良野小学校 第1回卒業証書授与式 卒業生27名 (3月19日)



3月1日の南富良野高等学校を皮切りに、14日には下金山小学校、15日に南富良野中学校、19日には南富良野小学校の卒業式が行われました。父母や先生方が見守るなか、合わせて69名の児童・生徒が校長先生から卒業証書が授与され、在校生の拍手に見送られて、これまで学んできた数々の知識とたくさんの思い出を胸に学び舎を後にしました。

南富良野高等学校 第63回卒業証書授与式 卒業生21名 (3月1日)



卒業に際して 保護者の声
(PTAだよりから抜粋)

- ◇ 3年間よく頑張ったと思います。勉強も部活動も目標を持って取り組んだと思います。これからが大切です。南富高の先生方のご指導に感謝します。
- ◇ 卒業おめでとう！3年間、通学がんばりましたね。ふっと見つめると、この3年間で成長したなあ、と感じます。これから目標を目ざして努力してください。南富高に入学させてよかったです。ありがとうございました。
- ◇ 3年間、勉強はもちろんですが、部活動もよく頑張りましたね。色々な大会にも出場できて、よい経験になったと思います。南富高で得たものをこれから活かしてください。
- ◇ 卒業おめでとう！色々あり、先生方にはご迷惑をおかけしましたが、何とか無事に卒業です。大変感謝しております。これからは一人前の社会人として頑張してほしいと思います。

下金山小学校 第103回卒業証書授与式 卒業生2名 (3月14日)



平成27年富良野広域連合議会 第1回定例会報告

平成27年度予算総額 23億3,596万2千円

平成27年度一般会計予算概要

歳入区分	歳入金額	歳出区分	歳出金額
分担金及び負担金	19億9,550万0千円	議会費	470万4千円
使用料及び手数料	4,093万9千円	総務費	5,488万6千円
財産収入	319万5千円	衛生費	2億542万9千円
寄附金	1千円	農林業費	7,375万9千円
繰越金	1千円	消防費	12億8,199万0千円
諸収入	2億3,102万6千円	教育費	4億4,825万8千円
連合債	5,130万0千円	公債費	2億6,393万6千円
国庫支出金	1,400万0千円	予備費	300万0千円
歳入合計	23億3,596万2千円	歳出合計	23億3,596万2千円

平成27年富良野広域連合議会第1回定例会が、2月20日に開催されました。本定例会では、広域連合の行政執行方針が広域連合長から示され、議案8件(予算2件、条例1件、報告4件、その他1件)が提案され原案通り可決されました。

可決された主な案件は、次のとおりです。

○議案第1号 平成27年度富良野広域連合一般会計予算

・予算の概要については、次のとおりです。

○議案第2号 平成26年度富良野広域連合一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ3,055万2千円を減額

《主な歳入補正》

- ・市町村負担金 2,982万1千円減
- ・農林業使用料(放牧料金収入) 238万1千円増
- ・生産物売払収入(乾草売払収入) 452千円増
- ・学校給食費収入(各学校給食センター給食費収入等) 336万3千円減

《主な歳出補正》

- ・一般管理費(一般職給料、各種手当等) 151千円減
- ・衛生センター管理費(管理運営費、一般職給料、各種手当等) 478万3千円減
- ・畜産業費(牧場管理運営費、一般職給料、各種手当等) 341万9千円減
- ・南富良野支署費(一般事務費、一般職給料、各種手当等) 463万円減
- ・南富良野消防団費(各出動費用弁償、分団業務委託料等) 287万円減
- ・南富良野施設費(支署庁舎耐震二次診断業務委託料等) 140千円減
- ・公債費(地方債償還利子) 579千円減

《制定・改正された条例等の概要》

○議案第3号 富良野広域連合教育委員会教育長の勤務時間、休憩等に関する条例の全部改正について

・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が、施行され、また、改正後の法律で、職務専念義務が追加されることに伴い、富良野広域連合教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例を制定する。

○議案第4号 富良野広域連合議会委員会条例の一部改正について

・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」と「地方自治法の一部を改正する法律」が、施行されることに伴い、条例中の文言を整理する。

○報告第1号 専決処分報告について

(平成26年度富良野広域連合一般会計補正予算第4号)

歳入歳出それぞれ350千円を追加

- ・主な歳入補正 雑入(自動車損害共済金、損害賠償) 350千円増
- ・主な歳出補正 消防本部費(車両修繕料、賠償金) 350千円追加

○報告第2号 専決処分報告について

(自動車事故の損害賠償及び和解について)

- ・物損事故による損害賠償

○報告第3号 専決処分報告について

(平成26年度富良野広域連合一般会計補正予算第5号)

歳入歳出それぞれ70千円を追加

- ・主な歳入補正 市町村負担金(上富良野町負担金) 131千円減
- ・雑入(自動車損害共済金、損害賠償) 201千円増
- ・主な歳出補正 上富良野消防署費(賠償金) 70千円追加

○報告第4号 専決処分報告について

(自動車事故の損害賠償及び和解について)

- ・物損事故による損害賠償

※その他会議に付した案件

○監査委員報告 例月出納検査結果報告

(平成26年度9月~12月分)

平成26年度定期監査報告

「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクール

農産物直売所作倶楽

北海道開発局では、道内の農山漁村において、地域住民が主体となり地域の活性化に貢献する優れた活動を行っている団体等を対象にコンクールを行っており、この度「農産物直売所作倶楽」(前川美根子代表・農業者11名)に奨励賞が2月25日役場大会議室において丹野弘旭川開発建設部長より表彰状が手渡されました。

6月から10月まで日曜日を除き毎日、自分たちが生産した80品目以上の農産物を店舗で販売するとともに学校給食や地域の老人施設、ホテル等に食材として供給しており、本州からの注文に対応した農産物の宅配、地域ブランドの認知度の向上にも寄与し、地域を元気にするこれらの取り組みと、直売にとどまらず、ポラントニアとして高齢者地域ネットワークのお世話も行うなど、地域の拠点として地域コミュニティの維持・創出を意識した取り組みが評価されたものです。



道産業貢献賞を授賞

小林 彦一さん(61歳・幾寅)

平成5年に町の農業委員会委員に就任され、平成11年から職務代理者、平成14年からは農業委員会会長を務められ、それらの功績が認めれ小林彦一さんが2月10日札幌市内のホテルにおいて、荒川裕生北海道副知事から産業貢献賞を授賞されました。

平成5年以來、農業委員会委員、会長として、農地のあつせんや農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者に対する利用権の設定など農地利用の調整に努めるとともに、農地保有合理化事業を積極的に取り入れ、経営拡大による農業経営の安定化に指導者として尽力し、また全国の女性との交流の機会を通し農業後継者の配偶者対策に鋭意取り組むなど、地域農業の振興に



地域貢献活動

2月25日、道営中山間地域総合整備事業かなやま湖畔地区の農道を施工している富良野市の大北土建工業株式会社(荒木毅代表取締役社長)による地域貢献活動として町道下十梨別支線沿いの雑木処理を実施していただきました。

※町ではこのたびの地域貢献活動に対し感謝状を贈呈しました。





かなやま湖周辺の生き物勉強会(3月19日)

金山ダム水源地域ビジョン推進連絡会(平塚麻利子代表)による、かなやま湖周辺の今と昔を知る勉強会「かなやま湖周辺の生き物」が情報プラザで開催されました。勉強会には16名が参加し、ダム管理支所から委託を受け永年にわたってかなやま湖周辺にすむ動植物について調査をされている(株)北開水工コンサルタントの折戸聖さんが語り部を務め、かなやま湖周辺で捕獲・採集された生物のスライドを見ながら聞き入っていました。

かなやま湖周辺に棲む魚類、両生類、爬虫類、哺乳類、鳥類、植物で確認された種類が多いことから、南富良野の自然が豊かであることを再認識する機会となりました。

まちの民生委員・児童委員を紹介します

町内には、厚生労働大臣と北海道知事から委嘱された11名の民生委員・児童委員がいます。

民生委員は、住民皆さんの立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。

児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談や支援などを行います。また、このうち2名の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けています。

地区ごとに担当の委員がおりますので、お気軽にご相談ください。

〇プロフィール					役職	
氏名(敬称略)					①住所	
					②担当地区	
					③電話番号	
					副会長 山内 茂樹 ① 幾寅 ② 西町・岐阜東鹿越地区 ③ 52-2854	
田口 ひろ子 ① 幾寅 ② 東町 ③ 52-2834	香川 瑛道 ① 落合 ② 落合全域 ③ 53-2266	山西 春美 ① 幾寅 ② 住吉・仲町農家地区 ③ 52-2382	会長 川井 稔 ① 金山 ② 金山全域 ③ 54-2518			
						後藤 健寿 ① 幾寅 ② 栄町・内藤 ③ 52-2245
主任児童委員 高橋 紀代美 ① 幾寅 ② 町内全域 ③ 52-2127	主任児童委員 佐藤 美奈子 ① 幾寅 ② 町内全域 ③ 52-2365	大竹 一枝 ① 北落合 ② 北落合全域 ③ 52-2708	鈴木 孝子 ① 下金山 ② 下金山全域 ③ 55-2237	山下 勝子 ① 幾寅 ② 朝日町・千木町 ③ 52-2198		

カメラレポート

CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(☎52-2115)までお知らせください。



落合地区でうどん作り(2月11日)

落合自治連合会(小出直由会長)主催の落合地域住民新春娯楽大会が落合地区多目的センターで行なわれました。

本事業は地域活性化交付金事業により開催されるもので、輪投げ、花札やペットボトルを用いたボーリングなど約40名が参加し、終始なごやかに楽しんでいました。また、昼食には、公民館分館事業としてお年寄りや子どもたちも交えてうどんを手打ちし美味しく味わっていました。

下金山小児童雪と楽しむ集会(2月13日)

下金山小学校(内村めぐみ校長:児童数9名)では、地域の自然や雪を生かしたレクリエーションに親しむ機会を設け、寒さに負けない体力づくりを目的に同校グラウンドにおいて「雪と楽しむ集会」が開催されました。

集会では、児童が考えた雪中ゲームや、スノーラフティングを楽しみました。あたりが暗くなってからは、児童が自ら作成したアイスキャンドルに点火し炎をしばし眺めていました。



日本財団から福祉車両贈呈(3月18日)

日本財団助成事業による地域社会貢献活動の一環として、南富良野大乗会なんぷ〜香房へ出張販売車両1台が寄贈されました。利用者を代表して長山英治さんより「出張販売車を寄贈いただき感謝致します。生産活動などで大事に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

寄贈された車は、保冷庫、手洗い施設があり大変利便性が良いと話されていました。



火文字「絆」鮮やかに(3月14日)

南富良野スキー連盟やスキースポーツ少年団などで構成する「南ふらのスキー場活性化実行委員会」(高松昌弘実行委員長)が、東日本大震災から4年を迎えたことから火文字「絆」を国設南ふらのスキー場に灯し、犠牲者を追悼しました。火文字の大きさは縦約150m、横約70mもあり、灯油を入れた缶約800個をゲレンデに配置し、実行委員会関係者ら約70名が黙とうをささげた後、上から順次点火し大勢の方が見守る中、打ち上げられた花火と共に鮮やかに浮かび上がりました。

お待ちしております！住民自主企画活動支援事業

皆さんの学びを応援します！

町民の皆さんが「いつでも」「どこでも」「だれでも」学習できる機会の充実を図ることを目的として、住民自らが企画実践される活動を支援します。

地域住民を対象に開催する講演会や演奏会、ワークショップ、学習会の運営など、企画段階からサポートしますので、お気軽にご相談ください。

子ども達の健全育成
や親子のふれあいの
場を充実させたい。

サークルや団体活動を
充実させたい。

趣味や教養の充実を
図るための教室や講
演会を開きたい。

新しいサークルの発
足に向けたきっかけ
作りに講演会を開き
たい。



こんなときは？

どのような構成で
進めたら効率的だ
ろうか？

課題や目的はわかっ
ているけど、講師をど
うしようか？

お気軽にご相談ください

この事業は、教育委員会との合同開催です。

アドバイスや準備など生涯学習係が企画者をサポートします。

助成の額 1事業3万円(町外から講師を招く場合は5万円)を限度とし、事業経費のうち講師などに支払う謝礼金の全部または一部を助成します。

事業対象期間 平成28年3月31日(木)までに行われる事業

申込期限 平成28年2月5日(金)まで

その他 詳しくは生涯学習係までお気軽にお問い合わせください。

平成26年度に実施された事業の一例

「下金山音楽に親しむ集い」

参加者45名 企画者 下金山優れた芸術文化に親しむ会

子どもや地域住民の芸術文化に対する興味・関心を深めることを目的に開催され、下金山在住「真朝」さんの歌・オカリナ演奏と楽器に触れるワークショップが開催されました。



子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315

子育て支援センター ☎090-5985-4339

いよいよ4月、始まりの季節。新しいお友達と出会い、仲良く遊んで喧嘩して、お父さんお母さんだけでない、新しい関係を作っていきます。最初はお母さんたちも悩んだり迷ったりすることがあると思いますが、あせらずのんびりと子どもを見守ってください。

☆育児講演会～折り紙遊び☆

2月6日(金)富良野から講師の先生をお迎えし、親子でお雛様の製作を行いました。普段作っている“かぶと”を少し変形させ、和紙を重ね合わせると豪華な、お内裏様とお雛様の出来上がり。出来上がった作品には講師の先生の印を押してもらいきれいに仕上がりました。お母さんたちは、立体的なバラを教えてもらい、苦労しながら作っていましたが、完成した作品はとても素敵でした。



☆ぷっこクラブ☆

2月10日(火)初めての試みとして町内のALT(英語補助教員)レベッカ・ルーマン氏による英語リズム遊びを行いました。おなじみの歌「頭・肩・膝・ポン」を英語に合わせ、みんなで歌いながら身体を動かし、ハンカチ落としの英語バージョン「ダック&グース」で子どもたちものり。参加してくれたお友達もすっかりレベッカさんと仲良くなりました。次はいつ会えるかな？



保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

冬のイベントの雪中運動会、追いかけて玉入れやボブスレー競技などの雪遊びをして楽しみました。お母さんたちの見守る中で楽しく動き回りました。雪山においたみかんを取りに、道なき道を駆け上がって雪まみれになりながら頑張っている姿をやさしいまなざしが追っていました。



金山保育所

調理実習で餃子を作りました。キャベツとニラを包丁で切るのは始めおっかなびっくりでしたが、だんだんと上手になりました。まぜて皮でつつんでホットプレートにならべておいしく焼き上げ、いよいよ試食。自分達で作った餃子はとてもおいしかったです。



病院や在宅福祉施設に行きたくても、身体的な理由などにより移動ができない方へ、送迎を行います！

移送サービス事業（病院送迎事業）

(1) 町内

サービス内容	町内の診療所への送迎
利用料	無料
申込先	社会福祉協議会 ☎39-7711

(2) 町外

サービス内容	町外の病院への送迎						
利用対象者	要支援者、要介護者、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者など						
利用料	区分	富良野	上富良野	旭川	赤平	新得	帯広
	下金山	900円	1,480円	3,040円	2,540円	2,540円	4,320円
	金山	1,080円	1,680円	3,220円	2,540円	2,140円	3,680円
	東鹿越	1,680円	2,140円	3,820円	3,280円	1,680円	3,280円
	幾寅	1,680円	2,540円	3,820円	3,280円	1,480円	3,280円
落合・北落合	2,140円	2,900円	4,280円	3,680円	1,080円	2,900円	
申込先	※往復料金 ※町民税非課税世帯の方で人工透析の通院は、上記料金の半額となります。 社会福祉協議会 ☎39-7711						

日中、家に閉じこもりがちの方に、みんなで集まって活動する場の提供を行っています！

生きがいデイサービス事業

サービス内容	健康チェック、ゆうゆう体操、入浴サービス、給食サービス
利用対象者	65歳以上で家に閉じこもりがちの方
利用料	790円／1回あたり
申込先	保健福祉課社会福祉係 ☎52-2211

調理が困難な方などに対して、栄養バランスのとれた夕食を届け、健康増進を行っています！

配食サービス事業

サービス内容	調理が困難な高齢者に対して、定期的に栄養バランスのとれた食事の提供
利用対象者	調理困難な65歳以上の高齢者
利用料	300円／1食あたり
申込先	社会福祉協議会 ☎39-7711

安心して住み慣れた家で家族と生活ができるよう、介護用品や住宅改修の助成を行っています！

1 住宅改修助成事業

サービス内容	介護保険給付事業で、限度額を超えて住宅改修を必要とする場合、経費の一部を助成 ○対象工事 手すりの取り付け、段差の解消、すべり防止、ドアの改修、便器の取替えなど
利用対象者	介護保険対象者で生計中心者が所得税非課税者
利用料	費用額の9割助成（限度額 20万円）
申込先	保健福祉課社会福祉係 ☎52-2211

2 オムツ等助成事業

サービス内容	寝たきりや認知症の高齢者を抱える家族に対し、介護用品の購入経費の一部を助成 ○対象用品 ・紙おむつ・尿取りパット・介護用使い捨て手袋・清拭タオルなど
利用対象者	65歳以上で要介護4・5の方（町民税非課税世帯のみ）
利用料	購入費の9割助成（限度額 10万円）
申込先	保健福祉課社会福祉係 ☎52-2211



保健福祉センター
発信@みなくる

保健福祉センター みなくる
保健福祉課 ☎52-2211 FAX 39-7020
地域包括支援センター ☎39-7711
社会福祉協議会 ☎39-7711 FAX 52-3711

介護予防・日常生活支援事業サービスのご案内

南富良野町と社会福祉協議会では、住み慣れた地域で安心して暮ら続けられるよう日常生活を支援するため、様々な在宅福祉サービスに取り組んでいます。

お困り事などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

安心して在宅生活が続けられるよう、日常生活上の必要な支援を行います！

※要支援・要介護認定者は介護保険サービスが優先となります。

1 生活援助事業

サービス内容	通院のための運転代行
利用対象者	身体的に障害等がある65歳以上の方
利用料	200円／1時間あたり
申込先	社会福祉協議会 ☎39-7711

2 ヘルパー派遣事業

サービス内容	(1)家事に関すること（調理、洗濯、住居の掃除など） (2)相談に関すること（生活・介護全般）
利用対象者	基本的な生活習慣に欠けている65歳以上の方
利用料	300円／1時間あたり
申込先	社会福祉協議会 ☎39-7711

3 除雪サービス事業

サービス内容	住宅の出入り口から公道までの通路の除雪（幅1.5m）
利用対象者	障がい又は病気により、除雪作業が困難な65歳以上の世帯
利用料	無料
申込先	社会福祉協議会 ☎39-7711

4 ふとん洗濯サービス事業

サービス内容	ふとんの衛生管理のため、洗濯及び乾燥消毒
利用対象者	65歳以上で心身の障がいや病気により、ふとんの上げ下げができない方
利用料	100円／1枚あたり
申込先	社会福祉協議会 ☎39-7711

5 短期入所事業（ショートステイ）

サービス内容	体調不良により町内の特別養護老人ホームへ一時的に宿泊
利用対象者	65歳以上の方
利用料	要支援・要介護認定者以外の方 一味園 1, 120円～2, 200円／1日あたり ふくしあ 1, 640円～2, 720円／1日あたり 要支援・要介護認定者の方 介護保険法の報酬 1割／1日あたり ※要介護区分、所得状況により決定されます。
申込先	保健福祉課社会福祉係 ☎52-2211

シリーズ学校だより 147

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野高等学校▶▶▶

卒業式

3月1日(日)に第63回卒業証書授与式が挙行されました。池部彰町長を始め町教委河野高好委員長や上林康政教育長など多くの来賓や保護者、在校生が見守る中、21名の卒業生それぞれに校長から卒業証書が授与されました。大きな可能性を秘めた21名の卒業生は3年間に思い出し涙ぐむ生徒もいて、可能性のある未来に向かって邁進する感動的な卒業式となりました。

進路決定状況

2年連続国公立大学短大合格
今年の3年生は早期から進路実現に向けて努力をしてきたことも功を奏し、名寄市立大学短期大学部に合格するなど2年連続で国公立大学短大に合格者を輩出しました。

また、カリーング部での活躍が認められ4年制大学に進学した生徒もいます。

就職では、20年ぶりに南富良野町役場に内定した生徒や陸上自衛隊自衛官候補生に合格した生徒もいます。

卒業式表彰授与者

- ◎南富良野町長賞 佐々木 樹くん
- ◎南富良野町教育委員会 教育長賞 佐々木朱音さん
- ◎南富良野高等学校

教育振興会会長賞

須甲 真悠さん

◎南富良野高等学校 教育振興会特別賞

カリーング部

- ◎皆勤賞 佐々木 樹くん
- 守谷 優汰くん
- 八木橋良紀くん
- 吉田 崇人くん

◎精勤賞

- 立花 尚俊くん
- 佐々木朱音さん
- 志戸田紘希くん
- 篠澤 宏知くん
- 八木橋良紀くん
- 中川 涼香さん
- 村上穂乃佳さん
- 渡辺 泉帆さん



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

まちづくり応援寄附金

◎栃木県 長谷川時男様 一万円

社会福祉協議会へ

◎幾寅 日下保子様より故日下和男様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

◎幾寅 山田弘子様より故山田三太郎様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

◎幾寅 南富良野町文化協会 様 ふうしあへ

- ◎幾寅 日下保子様 様
- ◎幾寅 高松昌弘様 様
- ◎幾寅 山田八重子様 様
- ◎東鹿越 佐藤芳樹様 様

- ◎金山 齋藤忠宏様 様
- ◎下山山 小蕎敏子様 様
- ◎占冠村 河淵修子様 様
- ◎占冠村 堤敏満様 様
- ◎富良野市 工藤恵子様 様
- ◎上富良野町 黒田光春様 様
- ◎札幌市 鎌田栄治様 様
- ◎札幌市 吉岡繁勝様 様

☆お誕生おめでとう

落合 清川 柚花ゆか 平成27年2月26日生まれ

★お悔やみ申し上げます

落合 佐藤 吉治きち 平成27年2月3日逝去

幾寅 池部 愛子あい 平成27年2月7日逝去

幾寅 日下 和男わく 平成27年2月11日逝去

南わたしたちのまち

(平成27年2月末日現在)

- 人口 2,641人(△7)
- 男 1,326人(△2)
- 女 1,315人(△5)
- 世帯数 1,433戸(△1)
- () 内は前月比